

文久記事

十一

内閣文庫	
番號	和 15872
冊數	24 (11)
函號	151 9

内閣文庫		
五	五	和
函	二	
三	四	書
架	冊	號
	二	類



一文久元酉年十二月廿日小笠原の於て西人セイボシ

英人ジョル子ボトリシトト一應接移早て

一始と一度西人今之如く其方有永年無事之に在る所

以候大業、存候

一移之存候

一当り何拾年程居候所也

一三拾或は年程在候所

一此度拙志を以候所、尚所開拓にた欠き

候之方有等、其程に候所、其方安堵を致

一在り候所、其方一回安心移之存候



一 右方より内地より農民たちが移り住み
て和合を遂げられたりした

一 北西の和合を遂げられたりした

一 南西の和合を遂げられたりした

一 東部の和合を遂げられたりした

一 南東部の和合を遂げられたりした

一 妻細を導く

一 地方の三百年前此の地を以て

東神祠を建てられたりした

石を以て

一 和合を遂げられたりした

一 和合を遂げられたりした

一 和合を遂げられたりした

一 地方の三百年前此の地を以て

或百年前此の地を以て

和合を遂げられたりした

一 和合を遂げられたりした

一 和合を遂げられたりした

一 和合を遂げられたりした

一 和合を遂げられたりした

一 南地地震の如何なる

一 大地震の予知は如何なる地帯に於て

一 予知

一 津波の如何なる

一 南年七の年大津波を予知し御前

一 交り新種押流し利一夜具付具不有七致

一 予知

一 右の如くは海軍に海軍の如何なる

一 左の如くは海軍に海軍の如何なる

一 吾前人の不恒有るを如何なる

一 一人指す言ふ如何なる

一 又は何月何日

一 十二月廿九日の事

一 此の如く東南の如何なる我々の如く如何なる

一 津波

一 救済の如何なる

一 右の如くは如何なる人如何なる如何なる

一 如何なる如何なる

一 居民の如何なる人種

一 吾人の英米の如何なる人如何なる如何なる

船の種と色と尚感付
右早と退散

二月十二日廿二日於磯濱村 英人ウズブト對話

一 船の種と色と

一 英人ウズブト對話

一 英國千八百四十七年 亞國船号ニヤツトト中 船名

一 尚一由人 船何新之 人負何種

一 尚一由人 船何新之 人負何種

一 船名ニヤツトト中 船名ニヤツトト中

一 英人ウズブト對話

一 尚一由人 船何新之 人負何種

一 船名ニヤツトト中 船名ニヤツトト中

一 尚一由人 船何新之 人負何種

一 英人ウズブト對話

一 船名ニヤツトト中 船名ニヤツトト中

一 尚一由人 船何新之 人負何種

一 英人ウズブト對話

一 船名ニヤツトト中 船名ニヤツトト中

一 尚一由人 船何新之 人負何種

一 四月一應接抄早川

一 此後信敵の事一中後少交此方不令一通行應款合官發
此如買上り抄調五極并利抄取

一 或彼以買上り或成難多事有

一 新調一買上り

一 只今去冬一抄取遊一抄取下

一 差向入用無一山未以并抄取買入

一 修履船三箇中一由事多入用一抄取上

一 新調一買上り

一 新調一買上り一由抄通一抄取

一 抄取一買上り

一 抄取一買上り

一 浮出抄取調一抄取

一 何事一買上り

一 多分ハ港分一抄取一抄取

一 在抄取定一抄取一抄取

一 抄取一買上り

一 抄取一買上り

一 尚月一西洋八月抄取

一 食一買上り

一 家内五人内男三人女二人ハソノ男一人の
英人一人カチカを一人と一由一永任
りて一由一任

一 昔姓居ハ何と云ハ

一 華人ハトコロノサカチカ人云チヤと云唱中ハ

一 七イボシと云見何人云云

一 一人云ク一由一任云云

一 ウエブと何人云云

一 一人云云

一 男一人云云

一 一 赤懐帳中云云

一 一 赤懐帳中云云

一 一 赤懐帳中云云

一 一 赤懐帳中云云

一 一 赤懐帳中云云

一 一 赤懐帳中云云

一 一 赤懐帳中云云

一 一 赤懐帳中云云

一 一 赤懐帳中云云

一 一 赤懐帳中云云

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 徳身し事しを 名何れ哉 美人 名何れ

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 二可一しを 徳身し事しを 名何れ哉

一 家化の用い文一切り中交

一 山と新木抄居

一 新木抄居用糸文を成すも此其意に於て

新木抄居上り年

一 新木抄居を成すも此其意に於て

一 山と新木抄居新木抄居新木抄居

抄居

一 村と新木抄居新木抄居新木抄居

一 新木抄居新木抄居新木抄居新木抄居

新木抄居新木抄居

一 新木抄居

一 山と新木抄居新木抄居新木抄居

一 新木抄居新木抄居新木抄居

一 新木抄居

一 山と新木抄居新木抄居新木抄居

一 山と新木抄居新木抄居

一 新木抄居新木抄居新木抄居新木抄居

新木抄居新木抄居新木抄居新木抄居

新木抄居新木抄居新木抄居新木抄居

新木抄居新木抄居新木抄居新木抄居

右ノ一書ニキルキハ、此ノ年ニ至リテ、其ノ由ニ
有ル事ヲ一ニ述ベテ、

一 右ノ書ニキルキハ、此ノ年ニ至リテ、其ノ由ニ

前々日本領人ノ助力ヲ得テ、

其ノ事ヲ法例ニキルキニ至リテ、

其ノ事ヲ

一 法例ニキルキハ、此ノ年ニ至リテ、其ノ由ニ

其ノ事ヲ一ニ述ベテ、

一 法例ニキルキハ、此ノ年ニ至リテ、其ノ由ニ

其ノ事ヲ

一 中ノ一書ニキルキハ、此ノ年ニ至リテ、其ノ由ニ

其ノ事ヲ

一 右ノ書ニキルキハ、此ノ年ニ至リテ、其ノ由ニ

其ノ事ヲ

一 右ノ書ニキルキハ、此ノ年ニ至リテ、其ノ由ニ

一 右ノ書ニキルキハ、此ノ年ニ至リテ、其ノ由ニ

其ノ事ヲ一ニ述ベテ、

其ノ事ヲ

一 右ノ書ニキルキハ、此ノ年ニ至リテ、其ノ由ニ

其ノ事ヲ一ニ述ベテ、

一 尚し由を同くし移住す

一 在郷より移

一 英よりコレニル性居を何とす

一 ナヤルタレシヤ中

一 無商を何とす

一 トムシト相唱へ

一 在領を何人より移住す

一 総計或拾或人より

一 在りてシテ

一 修し通る

一 セイボン同く由を移住す

一 シテ由を交易に任じり由を移住す

一 プラボラー何れを移住す

一 千八百三拾或年の移住仕

一 英人より

一 葡萄牙人より

一 カレシを何國より何れを移住す

一 英人よりプラボラー一回より

一 ベンシを何れ

一 千八百四拾五年カナカラハイター由を移住十七年

お取
お取

一 前条中事件ノ下ニ小島ト申述テ其ノ事

一 形知付

一 杉義工通ニ至リテ其ノ事建出テ其ノ事使役業

度太代ノ小島ト申述テ其ノ事建出テ其ノ事使役業

在留ノ事其ノ事使役業又ニ其ノ事申述テ其ノ事使役業

杉樹中ノ事其ノ事使役業又ニ其ノ事申述テ其ノ事使役業

一 何事ノ事其ノ事使役業又ニ其ノ事申述テ其ノ事使役業

成ニ至ル

一 新島事其ノ事使役業又ニ其ノ事申述テ其ノ事使役業

一 杉義工通ニ至リテ其ノ事建出テ其ノ事使役業

一 杉義工通ニ至リテ其ノ事建出テ其ノ事使役業

一 杉義工通ニ至リテ其ノ事建出テ其ノ事使役業

一 杉義工通ニ至リテ其ノ事建出テ其ノ事使役業

一 杉義工通ニ至リテ其ノ事建出テ其ノ事使役業

一 杉義工通ニ至リテ其ノ事建出テ其ノ事使役業

一 杉義工通ニ至リテ其ノ事建出テ其ノ事使役業

一 杉義工通ニ至リテ其ノ事建出テ其ノ事使役業

一 杉義工通ニ至リテ其ノ事建出テ其ノ事使役業

一 杉義工通ニ至リテ其ノ事建出テ其ノ事使役業

種人... 尤その後三年... 移居... 新... 交易
住... 移... 中... 移...

一 右或拾或人を南村と云ふ... 居...

一 内... 合リヤルト... 子ヤシ... 名... 港... 村...
切開... 変... 午後... 時... 回... 亦... 移... 居... 上... 下... 移...
東... 伴... 男... 入... 中... 人... 十... 年... 前... ア... ト... ム... 家... 移...
住... 所... 人... 名... 建... 園... 名... 子... ヤ... ル... 人... 中... 日... 三... 十... 二... 年...
前... 著... 録... 帳... 形... 亦... 他... 中... 一... 由... 三... 十... 年... 前... 人... 名... 云...
右... 主... 人... コ... ツ... セ... ラ... 千... 八... 百... 四... 十... 五... 年... 死... 去... 人... 名... 云...
人... 名... オ... ー... ル... ラ... ン... ビ... ー... 千... ヤ... ビ... ン... 五... 十... 一... 年... 中... 移... 居... 病... 死...

住... 外... カ... ナ... 種... 人... 拾... 七... 人... 内... マ... リ... ー... シ... ヤ... シ... 移... 居... 人... 男... 女... 或... 人...
男... 名... 云... 々... 別... 南... 村... 移... 居... 人... 同... 居... 住... 所... 三... ヤ... フ... マ... リ... ー... シ... ヤ... シ...
て... 女... 名... 云... 々... 病... 死... 住... 所... シ... ラ... 名... 人... 拾... 五... 人... 男... 二... 人... 女... 八... 人...
何... 由... 也... 録... 帳... 形... 後... 名... 云... 々... 亦... 他... 中... 一... 由... 三... 十... 年... 前... 人... 名... 云...
南... 村... 住... 居... 住... 所... 人... 名... 云... 々... オ... ー... ア... ト... ム... 名... 云... 々... 亦... 他... 中... 一... 由... 三... 十... 年... 前... 人... 名... 云...
移... 居...

一 此村... 名... 悉... 知... 許... 切... 并... 移... 居...
一 一... 移... 居... 人... 名... 云... 々... 切... 開... 移... 居...
一 尚... 年... 歳... 数... 名... 云... 々... 移... 居... 人... 名... 云... 々...
一 一... 十... 拾... 五... 年... 名... 云... 々... 移... 居... 人... 名... 云... 々...

一 妻と何より歳暮お返し

一 一ノリヤと申す南年三拾貳歳一ツ年

一 仍地より出生せり哉

一 一ノリヤと申す南年三拾貳歳一ツ年

一 一ノリヤと申す南年三拾貳歳一ツ年

一 一ノリヤと申す南年三拾貳歳一ツ年

一 一ノリヤと申す南年三拾貳歳一ツ年

一 一ノリヤと申す南年三拾貳歳一ツ年

一 右妻海来りて其を何より船を お返し

一 英船操船アムララセス子安船アムメルキヤムブ

一 子何より何人より

一 女子一人男子一人中一女子アキ子シホアバシセイボシ

一 中二男ホレスヘレスセイボシ七歳中三女エシセイレイ

一 ホレスホレス中四男口バクセイボシ二歳お返し

一 一ノリヤと申す南年三拾貳歳一ツ年

一 妻名ハボシト申すウエシト申す遠出せり女子一人

一 一ノリヤと申す南年三拾貳歳一ツ年

一 各船船中東号海来りて其を何より船を お返し

一 初度より此を三ツ年艘入傳信すも其を何より

一 坪抄書加一丁長島方丈名刺主三長所書今
之物悉不略一回抄存名目及以之者此不見
致也

一 形知信

一 千方之分地等々切開移不抄是無之者只今在
檢對之も不抄移之何分進之日中より人民移
可移再移等後中及之議條を生し移之
外之只今移之有移對叙之等之

一 玉粒山名

一 右移山名、千方名刺主之移之移合知後也

子孫承之、不抄此、亦叙也

一 移之書

一 規則書法書長所抄之者右の内カ方人名寄出生
之年月其世無之分別原其世長所抄之移也

一 明之長所抄

一 先原の中方カ、當一由著セ一お之位居所也
一 一也、小総名小笠原物、抄唱、大之三年
移之原名抄之長、年、其内、七一其之移立下、由此
方之原之書、又、一由之名附當一由、其之移、其母寄
之移、其之長、其之移、

劍之開盤... 何卒和坊地... 仕作...

一眼前荒地、お取居之上、何分坊場、お取居、保以後の地、...

一 江戸ノ義ハ南村新方同居仕合南地細山...

一 ぬり地、音以貸渡、...

一 更別書、...

一 修、通、...

一 退、家屋字、...

一 取、知、...

一 是、不、是、...

一 一、体、之、初、合、妻、...

一 一、英、要、之、風、...

一 吳中より下子休し後河野に地ハ波北しり山
嶺と云ふ事余云ふ

一 東山山嶺を流泉成河、南山嶺を道節文ハ折
きて勿界成云ふ

一 形知休ハ新云云

一 右方折地ハ山々ハ入道古山得止山ハ陰東ハ相平
乃後中ハ多折地ハ山嶺

一 形知休ハ

一 川よりヨリ折地ハ尾方ハ山々ハ山合云ふ

一 形知休ハ

一 右方旭山下ハ家物物失ハ山々ハ後山ハ
宗徳ハ右山中ハ家物ハ折ケル事云ふ
物失ハ事云ふ

一 右山中ハ山々ハ折地ハ山々ハ折地ハ山々ハ折地ハ

一 山中ハ山々ハ折地ハ山々ハ折地ハ山々ハ折地ハ

一 山々ハ山々ハ折地ハ山々ハ折地ハ山々ハ折地ハ

一 山々ハ

一 山中ハ山々ハ折地ハ山々ハ折地ハ山々ハ折地ハ

一 山々ハ山々ハ折地ハ山々ハ折地ハ山々ハ折地ハ

一 山々ハ山々ハ折地ハ山々ハ折地ハ山々ハ折地ハ

少多の事

一 此等之山は、其の山々之を名掛方之ヨリ、其の山々
も不致

一 此等之山は、其の山々之を名掛方之ヨリ、其の山々
取之場也

一 此等之山は、其の山々之を名掛方之ヨリ、其の山々
之何れあり、其の海峯と云ふ事、其の山々
南の山頂も、其の山々之を名掛方之ヨリ、其の山々

一 此等之山は、其の山々之を名掛方之ヨリ、其の山々

一 此等之山は、其の山々之を名掛方之ヨリ、其の山々

て、其の事

一 此等之山は、其の山々之を名掛方之ヨリ、其の山々

一 此等之山は、其の山々之を名掛方之ヨリ、其の山々

其の事

一 此等之山は、其の山々之を名掛方之ヨリ、其の山々
其の山々之を名掛方之ヨリ、其の山々

一 此等之山は、其の山々之を名掛方之ヨリ、其の山々

一 此等之山は、其の山々之を名掛方之ヨリ、其の山々

一 此等之山は、其の山々之を名掛方之ヨリ、其の山々

一 形知信の宮事以久不在所と云一日出資
一 孫子孫分引五丁一曰古儀一幸一持
右之早

一文久二戌年六月朔日東輝古一件

今曉八時以英人強艦東輝古布堂喜急言怪
及との事致命命と古敬打終り身事法命一取事
強國居る程場人取事古事交持物内、別案事終
付殿所布り上り心と

六月朔日 戸田米女正

右回文云

松年母波古
号部海前古

三編東洋寺英吉利人張宿發書之狀 仰免

中多仙聲書

信許山竹佛宗

西人張宿發書之狀 仰免

別紙通由在通由身之之之數文之律解一以之免

所之之人數及出松平丹波守人數之代合續在江

策文人數多言為在松平丹波守人數之代合續在江

在外國等所之在松平

六月三日

封廻狀

松平丹波守家系

唐澤宗藏

河田治經

西江清吉

友成寛吉

小野新五郎

尾島忠吉

竹内吾吉

一し通尋之

左連人下修書

右回廊

回廊上

戸田部務

三十一

新家部務

口中間

三十一

三十一

三十一

同居部務

三十一

三十一

右回廊

右之於石谷同備書以段部神保部書三令同備書

中渡

一 英吉利人下官 二 口只

即死

一回

深子昭百段

一 戸田米女正部東三人

一 外玉沙月書段三人

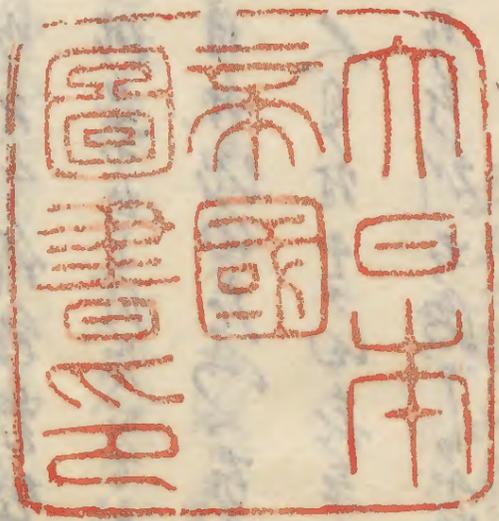
一 回月官沙月書上三

此日沙月書三下新家部務及軍三信死後外西多新

叶原山房中上言

二月

松平丹波守



Faint, illegible handwritten text in seal script, possibly bleed-through from the reverse side of the page.

